



九州産業大学付属 九州高等学校 新聞

第118号
平成30年11月1日

卓然自立

TOPICS

- ・校長挨拶・散歩道……………1
- ・体育祭……………2
- ・その他の行事……………3
- ・CLUB NEWS……………4

発行 九州産業大学付属九州高等学校

福岡市東区香椎駅東2丁目22番1号
TEL (092) 681-0461 代
FAX (092) 671-4240
URL <http://www.kyushu-h.jp/>



今学期を振り返って



校長
武田 壽一

残暑に悩まされながらも晴天に恵まれ、練習と準備が順調に進められていたところ、天候の巡り合わせが悪く、一日順延した日曜日に今年度の体育祭が開催されました。文化祭と統一テーマで実施されて3年目、「文武両道」を標榜する本校にとつて、2つの「祭」の象徴的な意義がますます大きくなっています。

今年度のテーマは「開花」。創立から半世紀を経て、本校はまさに開花の時を迎えています。「生徒主体」のイベントとして、その立案から準備・運営まですべてが生徒の手で行われ、大成功裡に終了。今年もグラウンドという大きなステージで、生徒全員が持てる限りのエネルギーを迸らせ、青春の汗を流しました。学内に溢れんばかりの多数の保護者の皆様にご来校頂き、生徒達の精一杯躍動する姿を見守り、かつご声援を賜りましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

部活動の活躍も大いに注目されます。少々前のことになりましたが、第100回全国高等学校野球選手権記念南福岡大会において、粘り強い試合運びで本校チームは勝ち上がり、甲子園出場まであと1勝と迫りましたが、猛暑にもかかわらず北九州市民球場に多くの生徒が集い、一丸となり懸命に応援する姿に、母校愛の涵養が実を結んでいることを感じ胸が熱くなりました。南部で1校だけ「優秀応援賞」を受賞したことも、書き添えたいと思います。

文化部では放送部が、第65回NHK杯全国放送コンテストでアナウンス部門と朗読部門でダブル出場。朗読部門で入選を果たし、続く全国高校総合文化祭でも優秀賞を受賞。さらにチアリーディング部が1、2年生で臨んだJAPANN CUP 2018で見事なパフォーマンスを披露し、陸上競技部、水泳部も全国大会に進出して活躍。男子ソフトボール部、空手道部、美術部が九州大会、その他多くの部活動が県大会に出場し、本校部活動の隆盛ぶりを大いにアピールしました。ますます躍進する九高生に、さらなる熱い声援をお送り頂きますよう、お願い申し上げます。

今年度の修学旅行につきましては、普通科を対象に新たにシンガポールと東北・東京の2つのコースが設定されました。2年生は11月初旬より、上記の目的地に加えて、スパー特進クラスが「英国・ロンドン語学研修」、造形芸術科が「フランス・パリ美術研修」へと出かけています。国内・国外とも、その模様がHPに逐次掲載される予定です。是非ご覧下さい。

3年生は卒業後の進路決定に向かって刻苦勉勵の毎日です。飛躍的な進学実績の伸張を示した今春を凌ぐ成果を目指して、受験勉強に真剣に取り組み姿が校内のいたるところで見受けられます。今後、推薦入試の合格を皮切りに、朗報が続々と届くことでしょう。

絶えず変化し成長し続ける生徒達に、最善の指導とサポートをするため、教職員一同、日々の教育活動に一致団結し邁進する所存です。保護者の皆様には、本校の教育方針及び教育活動を十分ご理解の上、ご指導ご鞭撻の程、重ねてよろしくお願い申し上げます。

はなの散歩道

本校には現在3名のALTの先生がいる。職員室の真ん中に机が並び、NYマンハッタンの摩天楼のオフィスのように、そこには「イングリッシュ・ワールド」が展開している。「東京にはデイズ・ニールランド。大阪にはUSJ。そしてキウウ・シューには……」。大胆なキヤッチコピーが頭に浮かんだ。◇イングリッシュ・ワールドの周辺にはネイティブならではの童巻のような英語が飛び交い、「うっかり」あるいは「故意に」近づくと、イングリッシュ・トルネードに巻き込まれる。英語の先生はもちろん、英語自慢のチャレンジャーたちが修行の成果を求めて「道場破り」に挑むが、いつも見事に撃破。時にはALTの先生から、「How's it going?」とセンセー攻撃がセンセーを襲うこともある。◇一方、無垢なチャレンジャーである生徒達は、ALTの先生に無心に話しかける。「ハウ・マッチ……」じゃなくてハウ・アー・ユー・ファイン・センキュー。会話を自己完結させてしまうこともあるが、おおむねコミュニケーションは円滑で楽しそう。だ。◇ALTの先生との授業では英語学習を活性化のため楽しいゲームが使われ、生徒もノリノリで楽しんでいる。「Let's play the game!」
「That's a good idea!」こんな叫び声が教室に響く。エキサイティングな雰囲気、盛り上がりを見て、「アクティブラーニング」の実践方法に悩むある先生が呟いた。「うらやましいなあ。『イングリッシュ・ワールド』にはアクティブでないラーニングなどないなあ……」

平成30年度 体育祭 開催



30年度ポスターデザイン

2年 丸田 夏葵

(香椎第3中出身)



今年度の体育祭は雨のため順延となり、翌日の日曜日に開催されました。天候の崩れが心配され、少々短縮したプログラムで実施されましたが、当日は晴天に恵まれ気温も上昇。生徒の熱気も加わり、若さ溢れる渾身とした競技や集団演技がグラウンドで見事に披露されました。昨年を上回る連日の猛暑に見舞われ、練習・準備は大変厳しいものでしたが、当日は全校生徒心を合わせ例年に負けない思い出に残る素晴らしい体育祭を作り上げてくれました。

ブロック別

バックパネルデザイン



3年 小野 弘人
(松崎中出身)

優勝ブロック

青ブロック長

今年度の体育祭から、応援合戦が演舞とダンスのチームに分かれて実施されることになりました。応援団員とダンスリーダーは夏休みから振付や構成などを考え練習に励んでいましたが、演舞については体育祭一週間前になって全ての内容を変更。パネルもあまりうまくいかず、パネル長も悩んでいました。しかし、体育祭が近づき練習を重ねるにつれ、演舞もレベルが上がりが完成度も高くなっていました。パネルも3年生が中心となってスタンドのみならず素晴らしいものになっていきました。本番ではブロック全員が協力し支えてくれたので、総合優勝という最高の結果になりました。青ブロックの皆さん本当にありがとうございました。



3年 愛智 歩夢
(和臼丘中出身)

体育祭を終えて

体育委員長

「開花」をテーマとし臨んだ体育祭。今年の体育祭は、去年までになかった「運営委員」を取り入れることで、さらに「生徒主体」に近づくことができました。思いどおりにならず不安や焦りを感じる場面もありましたが、それでも最後までやり遂げることができたのは、生徒一人ひとりの意識が少しずつ変わっていったからです。

皆さんのおかげで最高の思い出、感動の詰まった体育祭にすることが出来ました。そして、体育祭実行委員長をはじめ、生徒会、生徒執行部、各ブロックヘッド、運営生徒、九高生みんな、本当にお疲れ様でした。この体育祭で、学んだことを今後の学校生活に生かし、更に九州高校を開花させていきたいと思います。



キャリアデザイン

7/4

「将来、何をして生きていくか」「何が自分にとって幸せなのか」このようなことを考えることが、進路選択のスタートラインではないでしょうか。本校では毎年、自分の進路「生き方」について考える「キャリアデザイン」という進路行事を行っています。

1年生は、京都造形大学の吉田大作先生をお招きして、「キャリア講演」を行いました。『変化の時代を生きていくアップデートの方法』という題目で、これからの社会の変化やそれに対応するために必要な力、モチベーションアップの方法などを学びました。自分の目の前のことに精一杯という生徒が多

い1年生にとって、将来の人生設計や、生きていく社会について考える良い刺激になったと思います。今回の講演を通して、将来を見据えた文理選択、進路選択への意識を高く持つことができました。

2年生は、大学・短大・専門学校からお招きした先生方の講義タートルから、生徒自身が興味・関心のあるものを選び、受講しました。講義は70分間という短い時間でしたが、それぞれの分野で、見て、聞いて、考え、自分はどんな成長をしていくのか、どんな理想があるのかといった自分自身の「人生の設計図」へ導くための材料になったようです。生徒達の進路選択における視野が大きく広がり、進路を考える参考になりました。

アカデミックキャンプ

7/13~16

阿蘇の司ビラパークホテルにて全学年スーパー特進クラス145名は、3泊4日の「アカデミックキャンプ」を実施しました。1・2年生による「英語・日本語ディベート」に始まり、3年生による、ロンドン語学研修の体験談を2年生に伝える「ロンドントーク」や、1年生に苦手科目を教える「チュートリアル」等、学年交流企画を通して、スーパー特進の縦の繋がりを育むことができました。2年生の実行委員を中心に、自ら運営し、生徒全員がお互いに高め合うアカデミックキャンプは、スーパー特進クラスの伝統の1つとして大きく発展し、大成功で終わることができました。

スピーチコンテスト

8/17

1・2年生スーパー特進・特進クラスによる「英語暗唱・スピーチコンテスト」が開催されました。1年生はオバマ前大統領の広島でのスピーチやステイブ・ジョブズ氏のスピーチなど、多様な原稿の中から全員一つずつ暗唱し、予選を勝ち抜いた生徒による暗唱コンテストを行いました。2年生は自分でテーマを設定し、全員が英語によるスピーチ原稿を書き上げ、自らの主張を訴えかけるスピーチコンテストを実施。緊張感が漂う会場で、代表者たちは堂々と、流暢な英語で、熱意のこもった発表を行いました。日頃の英語学習の成果を存分に発揮した夏のイベントとなりました。

文理選択およびコース編成説明会

9/25

1年生を対象とした「文理選択およびコース編成説明会」を実施致しました。2年生進級時には、進路希望や適性に応じて文理・コース選択を行います。文理選択においては、学ぶ分野に大きな違いがあること、コース選択においては、進路目標の実現に向けて学ぶべき方向性を決めなくてはなりません。また、この学年は「大学入試改革」元年の受験生となります。説明を受けた生徒と保護者の皆様方の真剣な眼差しに、1学年教員団も、更なる精進と強い決意を持って指導にあたることを再認識致しました。

美術交流会

7/30~8/2

夏休みの4日間、恒例となった造形芸術科の「美術交流会」が開催されました。中学校の美術部員や美術に興味のある生徒が多数参加し、7

講座に分かれ約2時間の実技を体験。本校の美術部・写真部・漫画研究部・モダンアート部の部員が実技指導を担当しました。和気あいあいとした雰囲気の中、教える方も教わる方も真剣な表情。指導した生徒から「中学生に教

えることでこちらも刺激を受け、楽しい時間を過ごしたかったです」という感想が聞かれました。今後も様々な活動を通して、造形芸術科の魅力を発信していきたいと思っています。

スポーツ特別講演

9/10

ソフトボール元日本代表監督の宇津木妙子氏を講師に迎え、2年生を対象とするスポーツ特別講演が行われました。演題は「夢の実現」努力は裏切らない。まず、講演の協力企業である大塚製薬による「水分補給啓発セミナー」の後、宇津木氏がステージに颯爽と登場。「年齢はいくつに見える?」という問いかけに、生徒から「20歳!」。会場の雰囲気が一変して和んで、講演がスタート。宇津木氏はソフトボールを始め、たきかけから、学生時代及び企業チームでの選手生活、そして引退後の監督就任、また、全日本代表監督として上野投手との出会いなど、興味深いエピソードを交えながら、生徒に熱く語りかけました。「先生から、叱ってもらっていますか?」「自

分がみんなを助けてあげられるような、そして自分の考えをはっきり伝えられる、そんな人間になって欲しい。経験に裏打ちされた説得力のあるメッセージが、生徒の心に響き渡りました。

講演が終了した放課後、本校グラウンドで女子ソフトボール部の練習を見て頂くことに。まさかの体験として、宇津木氏自らノックもして頂きました。講演を聴いた2年生にとって、そして女子ソフトボール部員にとって、忘れられない1日となったことでしょう。



CLUB

NEWS!!

2018 夏

(平成30年9月15日現在)

野球部

野球部は7月7日より夏の甲子園を目指し戦いました。今回は記念すべき100回大会ということもあり、福岡からは南北1校ずつの2校出場できる大会となりました。猛暑の中、生徒たちは懸命に戦い接戦を勝ち進み、甲子園まで「あと一つ」のところまで行きましたが、残念ながら沖学園高校との決勝戦に0-1で惜敗。17年ぶりの夏の甲子園出場は果たす事はできませんでしたが、一戦一戦勝ち進むごとに成長していく生徒の姿を目の当たりにし、高校野球の素晴らしさ、奥深さを感じさせられました。この先輩たちの結果を超えるべく後輩たちは日々の練習にこれから励んでくれると思います。熱いご声援、本当にありがとうございます。

陸上競技部

三重県「三重交通Gスポーツの杜伊勢」でインターハイが行われました。立っているだけで汗が噴き出る猛暑の中、女子1000mに3年古藤友香(和白丘中出身)、女子走り幅跳びに2年伊藤芽彩(志免東中出身)が出場致しました。古藤は昨年度の悔しさをバネに全国という舞台で堂々たる走りを見せてくれました。また、伊藤は予選突破記録を一発でクリアし、目標であった決勝進出を果たしましたが、決勝では納得のいく跳躍ができず、13位という結果に悔し涙を流しました。この悔しさをバネに、来年度は表彰台を目指して

ボランティア愛好会

ボランティア愛好会は発足から5年目を迎え、現在27名が在籍しています。これまで毎年、「あしなが学生募金」や保育園の夏祭りの補助スタッフなどのボランティア活動を主に行っていました。今年度は初めて、「たたらりハビリテーション病院」での夏祭りに歌や朗読で参加しました。入院患者の方々へ嬉しく思いながらも、人のためにもっとできることや周囲への貢献について考える、貴重なきっかけとなりました。これからも人との出会いを大切に、感謝の気持ちを持って、自分たちにできることを積極的に考えて行動に起こせる人になって欲しいと願っています。

欲しいと思います。なお、伊藤にしましては10月に福岡県で行われる国民体育大会の福岡県代表選手として出場致します。



放送部

今夏、放送部は2つの全国大会に出場しました。7月24日、26日に東京で行われた「第65回NHK杯全国高校放送コンテスト」では、朗読部門に出場した石橋怜依が準決勝に進出し、決勝は逃したものの「入選」に入りました。また石橋は、8月9日・10日に長野県で行われた「信州総文祭」にも出場し、「優秀賞」を受賞しました。全国大会での経験を活かし、今後も大会や学校行事等頑張っていきたいと思えます。

◇第65回NHK杯全国高校放送コンテスト

・朗読部門 入選

・石橋 怜依(福岡中出身)

・アナウンス部門 出場

・一野 信愛(箱崎清松中出身)

◇第42回全国高校総合文化祭

・朗読部門 優秀賞

・石橋 怜依



生徒執行部

生徒会のメンバーが活動しているところをイメージしてみたい。黄色の腕章を付けて、全校生徒が集まる時に整列指導をしたり、野球応援で着席指導をしている姿が思い浮かぶのではないだろうか。では、生徒執行部のメンバーを見かけるのはいつでしょうか。思い付きますか？実は、九州高校の2大学校行事である、文化祭と体育祭を生徒会と一緒に盛り上げているのが生徒執行部なのです。これらの行事を生徒みんなで作ります。成功させるべく何カ月も前から

チアリーディング部



8月31日、9月2日の3日間、JAPANCUP 2018が群馬県高崎市で行われました。1・2年生で臨んだフライングデートーナメントは、準決勝に進出ならず悔しい思いをしました。しかし、全国レベルの演技を目の当たりにし、チームの課題や来年度に向けての具体的な目標設定ができ、有意義な遠征となりました。来年度は現2年生が最後の大会となります。2分30秒にすべてを出し切れる強さと情熱をもって、チーム一丸となり、日々努力してまいりたいと思います。応援ありがとうございます。

水泳部

第86回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは個人・リレー合わせて13種目に出場しました。男子400M個人メドレーにおいて、2年高田航輔(宗像市立中央出身)が5位入賞。第41回全国JOCジュニアオリンピックカップでも同種目において4位入賞。また、この入賞時の記録は今年度のナショナル強化選手の記録を突破しました。これらの結果は、チーム一丸となつてどんなときも前向きに、1回の練習に懸けてきた成果だと感じました。今後、優勝入賞を目指して頑張ってください。ご声援ありがとうございます。

